

件名：日本介護支援専門員協会 メールマガジン12号 20080204
送信日時： 2008年 2月 4日 月曜日 10:50 PM
差出人： 日本介護支援専門員協会 事務局 <jcma.net@jcma.gr.jp>
宛先： <motoyasu@ohba.co.jp>

★*:。★'*:~----- 2008.2.4 -----
日本介護支援専門員協会 メールマガジン No.12

☆転送大歓迎☆

会員の皆様、こんにちは！ メルマガ第12号をお届けします。

===== お知らせメニュー =====
1. 広報編集委員会からのおたより（今回は長谷川常任理事より）
2. 行政のうごき（詳細はホームページの会員専用頁にて！）
3. 地域包括ケア研修会のお知らせ
4. 介護支援専門員テキスト 刊行遅延のご連絡とお詫び
5. シニアライフEXPO2008のご案内
=====

●1● 広報編集委員会からのおたより

- ☆早いもので今年ももう2月に入りました。
会員の皆様にとって平成20年初のモニタリングはいかがでしょう？
- ☆利用者の皆様も1月初旬は、週間サービス計画通りにサービスが提供できずに、通常的生活パターンと違ってしまったことに、「やはり正月だなあ」とか「何で正月はいつも通りにならないのか」といった話しはありませんでしたでしょうか。
- ☆介護支援専門員としては利用者の方々には昔から馴染んでいる正月の過ごし方をさせていただくのも自立支援の観点からは必要なのかなあと思う感じがしています。ちなみに、サービス事業者からは元旦の早朝から実績報告があったことに少々驚きましたが、私も元旦から報告書に目を通していている事実「生活を支援することは365日24時間気が抜けないものだ」と気持ちを新たにしました次第です。

【広報編集委員会（担当常任理事） 長谷川佳和】

●2● 行政のうごき

◇社会保障審議会介護給付費分科会◇（第46回 H20.1.30）

- ★議題は「療養病床から転換した介護老人保健施設（転換型老健）について。
- ★療養病床再編に伴い、平成23年度末までに介護療養病床は廃止されることが決まっています。医療の必要度が低いとされる人は、病院ではなく介護施設等で受け入れることとなりますが、転換型老健に入所する人は状態が安定しているとはいえ一定の医療ニーズがあるため、これに関する基準や報酬についての議論が行われています。
- ★木村会長は、厚労省に対して次回の分科会で説明をしてほしいこととして「今年4月より麻薬は転換型老健だけではなく現行老健でも使用できるようになると聞いているが使用範囲はどこまでなのか」また「入所者に対して往診した医師が使う医療材料、衛生材料、医薬品等のモノの流れについて、具体的に誰が指示し、処方し、誰が入所者に持っていくのかを教えてください」と、必要なサービスが提供される利用者尊厳の視点も踏まえ回答を求

めました。

★この日は、看護職員の配置基準について、現行の介護療養病床と同じ6：1にすることが示されました。

★入院患者・入所者の面積基準は、現行の療養病床は一人当たり6.4㎡、老健は8.0㎡ですが、転換型老健については「経過措置として平成24年度末までは6.4㎡でも可」とされていました。
しかし、療養病床を持つ医療機関は介護保険がスタートした平成12年前後に建築された施設が多く、その時点ではまだ改修の時期を迎えないと考えられるため、療養病床の再編を定めた健保法等の一部改正法の公布日（平成18年6月21日）の前日以前に着工した施設は、平成24年4月以降でも大規模修繕するまでは経過措置を延長することが示されました。
ただし、この場合は既に基準に対応している施設との均衡を配慮して、介護報酬に差をつけることで改修促進する方針です。

★厚労省は1月25日の自民党介護委員会でも本件の説明をしていますが、現場からの声を聞くべきとの意見があったため、分科会の承認を得て、次回（第47回2月8日開催）は、療養病床関係者からのヒアリングをすることになりました。

↓行政情報はホームページの会員専用頁で↓

https://www2.jcma.gr.jp/jcma_member/member/login.aspx

●3● 地域包括ケア研修会のお知らせ

【共催：日本看護協会・日本社会福祉士会 主管：日本介護支援専門員協会】

★日時：平成20年3月25日（火） 9:30～16:30

★場所：福岡国際会議場 多目的ホール（福岡市博多区石城町2-1）

★参加費：会員3,500円 非会員5,000円

★基調講演：池田 武俊氏

（大牟田市保健福祉部参事

前厚生労働省老健局計画課認知症対策室室長補佐）

※基調講演は古都賢一 厚生労働省老健局振興課長で一部ご案内をしておりましたが、都合により変更となりました。

★教育講演：樋口 恵子氏

（NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長・

高齢社会NGO連携協議会代表・東京家政大学名誉教授）

↓パンフレットはこちらから↓

<http://www.jcma.gr.jp/news/image/20080204-03.pdf>

●4● 介護支援専門員テキスト 刊行遅延のご連絡とお詫び

1月末に発行を予定しておりました介護支援専門員テキストの、第1巻「スーパービジョン」、第2巻「ターミナルケア」、第3巻「主任介護支援専門員の役割と視点」の発行が、ひと月ほど遅れております。
ご予約をいただいている皆様にお詫び申し上げます。
発行次第随時お送りいたしますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

●5● シニアライフEXPO 2008のご案内

【主催：CMPジャパン 後援：当協会、(社)シルバーサービス振興会、他】

介護市場の中での優れたサービスや製品に出会う場、適正な情報や製品を手にとって見る機会です。

- ★日 時：平成20年2月27日（水）～29日（金） 10:00～17:00
- ★場 所：東京ビッグサイト 東4ホール（東京都江東区有明3-21-1）
- ★参加費：無料
- ★当協会も出展します！ ぜひお立ち寄りください。
- ★2月28日11時～12時には、鷺見よしみ副会長が特別セミナー「生きること～生き抜くことの支援 『孤立』を考える～」の講師として出演します。聴講は無料です。

↓詳細はこちらから↓
<http://www.seniorexpo.jp>

♪後記♪

- ・冒頭のおたよりを担当した長谷川常任理事は、埼玉県支部長で、柔道整復師さんです。
- ・居宅介護支援事業所部会では、部会一丸となって「介護保険Q&A集」を作成中！近日刊行予定です。次号で詳しくお伝えします。
- ・全国大会開催まで、2週間をきりました。大阪で会員の皆様にお会いできるのを楽しみにしています！

メールアドレスの変更等、会員登録情報の変更に関しては下記ページにて承っております（[会員専用頁](#)>[会員情報変更](#)）。

https://www2.jcma.gr.jp/jcma_member/member/login.aspx

- ※システムの都合上、同じメールアドレスで複数の方が登録されている場合、ご登録いただいた人数分が配信されてしまいます。できましたら、個人アドレスまたは携帯電話アドレスなどへの変更等ご対応をお願いできれば幸いに存じます。パソコン版だけでなく、携帯版も発行しています。
- ※本メールの送信アドレスに、返信やお問い合わせを頂いてもご返答することができません。ご不明な点・ご質問などございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
- ※メールが崩れて見える場合は「MSゴシック」や「Osaka等幅」など等幅フォントでご覧ください。

担 当：日本介護支援専門員協会 広報・編集委員会

連絡先：日本介護支援専門員協会 事務局

メール info@jcma.gr.jp

ホームページ <http://www.jcma.gr.jp>

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-3-3 八重洲山川ビル6階

TEL 03-3548-7955/FAX 03-3548-7956

◆個人情報保護方針について

<http://www.jcma.gr.jp/site/privacy/index.html>
